

部 長	岩 瀬 将 之
研究主任	本 多 裕 輔
部 員 数	5 1 名

1 研究主題

『主体的にコミュニケーション活動に取り組む児童・生徒の育成』
～求められる英語指導のために～

2 はじめに

数年来、小・中学校の円滑な接続を目指し、授業での言語活動の内容、指導方法等について検討してきた。今年度より、小学校の新学習指導要領実施により、英語の教科化、英語活動時間数、学習内容の大幅な変更などが行われている。これに伴い、学級担任が行う英語の指導法の模索や改善、並びに中学校での英語学習に向けた円滑な接続が求められた。また、中学校においても、小学校で習う学習内容の変更により、中学校で学習する内容の変更や、小学校での既習内容を改めて把握する必要があるようになった。

今年度、上記研究主題に関連し、新学習指導要領による授業が始まった小学校と、来年度以降に始まる中学校と、それぞれの課題をもって、授業実践や指導と評価の一体化についての情報交換を主な活動として研究に取り組みたいと考える。

3 研究経過

研究主題に沿って、各部員の勤務校において各校の現状を踏まえた実践・研究を進めた。

4 研究の概要

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため教育研究活動が実施できなかったため、各校での実践・研究となった。新学習指導要領に関して、今年度小学校の授業実践や、中学校における指導と評価の一体化についての情報交換を、年度末に向けてオンライン上で行う予定である。

5 今後の課題

小学校においては、授業の持ち方や課題設定の在り方、評価の在り方などがまだまだ手探りで行われている。また、中学校においては、新学習指導要領による三観点の評価の在り方や、以前は高等学校の指導内容であった仮定法などの指導法など、様々な課題がある。また、1人1台タブレットの活用法の研究も進めていきたい。